

# 墨東大学 第1期生 卒業制作展

2011年3月9日(水)～13日(日) 13:00～19:00 ころ 墨東大学 京島校舎1Fギャラリー  
(〒131-0046 東京都墨田区京島3-21-9-1F) <http://bokudai.net/>



## 作品リスト

### 白井 隆志

kikunoya chair

「ミニマムアーバニズムII」で生まれたベンチ。京島校舎のとなりにあるもつ焼き屋「きくのや」の店先に設置され、町の人々の憩いの空間を生み出します。

### 飯田 達彦

京島お散歩ガイド

京島校舎の周辺を、約30分かけて歩きながら、感じたことをとにかく声で発して、ICレコーダーに録音しました。音声を聞きながら、同じルートをなぞって歩けば、自分とは異なる視点や感覚から、まちに潜む多様な側面を発見できるかもしれません。

### 水谷 晃毅

21歳男子、はじめての編み物

編み棒を触るのも生まれて初めて。スーツ姿の男が、商店街の一角で背中を丸めて必死に毛糸と格闘している…なかなか面白い光景だったと思います。途中通りかかった編み物マスターのおばあちゃんから「編み目がキレイ」とまさかのお墨付きをいただいた、渾身の力作です。

### 神通 絵里花

つながる

寒い冬に、お喋りしながら編みもの。たまにはこういうのもいいよね。墨東大学でのから始まった、私の編みもの。その中には、新たな出逢いが詰まっている。編むとともに感じた、人と人とのつながり。

### 三枝 峻宏

墨東カンパッチ～ちょうちんシリーズ～

京島校舎の周辺で見つけた、夜の墨東のまちにひろがる星たち一光り輝くちょうちんを題材として制作したカンパッチたちです。たくさん集めれば、自分だけの飲み屋街を作ることができます。シークレットは、飲み屋のおじさん達のキラキラとした笑顔。これもまた夜のまちでなければ見つけることのできないモノなのです。

### 仲尾 千枝

WA!

編み物初心者の私は、折り返しもせずひたすら編み続け…色んな毛糸を繋げてできた紐を輪っかにしました。実用性は全くありませんが、ご近所のおばちゃんと一緒に輪になって編み物した時間の成果です。

### 馬場 葉子

写真とスケッチの記録

「写真とスケッチの記録」は、生け花教室の基礎コースで記録し続けた写真とスケッチをまとめたものです。墨東の授業の中で、記録しつづけたものをどのようにアウトプットしたらよいかを考え、一冊の記録集としてまとめることにしました。

記録したものをまとめる作業を通して、写真とスケッチを並べてみるという、ふり返りをはじめて行うことにより、記録の取り方も考えさせられる一冊となっています。

### 丸本 智也

ドアノブ掛け

いとうさちさんの「編み編む編まれ編むとき編めば」の授業の際に制作。墨東に落ちていたビニールテープや毛糸を組み合わせて、京島校舎のトイレにかけられるような、ドアノブ掛けをつくりました。

### 大崎 敬志朗

(仮)映像コンテンツ「なかじの恋路」

なかじさんの恋路に触れる映像。3/3に墨東大学京島校舎と東向島珈琲店にて撮影。当日は絶好のロケ日和で、学生のみなさんと会話を弾ませながら楽しく意欲的に撮影に参加させて頂きました。なかじさんのアクティグがナチュラルで必見です。

### 森部 綾子

墨東チラ見世

墨東エリアでなかぢの淡い恋の物語(実話)を回想しながら展開していきます。なかぢの恋愛に迫るドキュメンタリータッチの作品です。どこか懐かしいような、せつないような、誰もが恋愛に対して抱いたことのある気持ちを思い出させてくれる青春ストーリー、なかぢの白熱した演技にこうご期待!

### 渡部 拓郎

墨東怪異物語

墨東のまちには「怪異」の伝承が多く残されています。そうした怪異の姿と物語を、iPhone アプリケーションを用いて可視化したのが墨東怪異物語です。このアプリを使用しながらまちを歩いてもらうことで、普段とは違ったまちの一面を見る事ができます。

### 大間知 卓

昼寝をするための徹夜

渡邊大晃の卒制概要と同じです。

### 徳山 博章

なかぢの恋路

墨東大学の職員、「なかぢ」こと中島さんの中高大学生の主に「恋愛」に関する思い出から構成される短編映像の「予告編」を制作しました。本編の展示はなく、あくまで予告編とポスターの展示となります。

### 鷹箸 優

なかぢの恋路

墨東大学の職員、「なかぢ」こと中島さんの中高大学生の主に「恋愛」に関する思い出から構成される短編映像の「予告編」を制作しました。本編の展示はなく、あくまで予告編とポスターの展示となります。

### 新詞 麻友

ひさしぶりの編みもの。

編みかたを思い出しつつ、始めました。墨東とは一見無関係ですが、あそこにいたから思いついた、いとうさんに教えていただいたからできた、そんな作品だと思っています。

## 石山 睦弓

muuvie 冊子

この小冊子は、映像作品「muuvie」に付属するジャケットである。冊子には、映像内に含まれる情報が視覚化されている。この冊子制作を通して、印刷物のデザインの難しさを学んだ。担任のかざるさんには頭が上がりません。

## 田中 絵里

my ノート made in 紙のバイキング

堂地堂さんの向島ノート展、「紙のバイキング」というイベントにて制作したオリジナルノートです。イタリアの紙から藁半紙まで、様々な種類の紙を贅沢に使わせて頂きました。色んな書き味が楽しめて、色んな人に書き込んで欲しくなるノートです。

## 相原 瑛里

編み物・携帯入れ

「編み物って、なんか、女の子らしい！」という単純な思いから始まった私の編み物。訳もわからず失敗した所を上手く活かしたり、道行く編み物ベテランのおばあちゃんに愛のダメ出しを受け、参考にしたりしてできた作品です。

## 瀬谷 昂宏

昼寝をするための徹夜, 墨東チラ見世

昼寝をする授業→徹夜時に制作した枕を展示致します。墨東チラ見世→墨東大学の職員、「なかち」こと中島さんの中高大学生の主に「恋愛」に関する思い出から構成される短編映像の「予告編」を制作しました。本編の展示はなく、あくまで予告編とポスターの展示となります。

## 南 美帆

ちいさな編綴実習

かざるさんの講座で卒業制作をするつもりなのですが、今週は墨東へ行けなさそうなので、今回の卒業制作展で卒業をすることは難しそうです。

## 小林 みずほ

わたしのリトルプレス

墨東でみんなで机を囲んで出した「自分」と「相手」のために、リトルプレスを作ります。誰かに届けるといことと自分に向き合う作業。

## 青木 日登美

キラキラキャラバッチ

京島キラキラ橋商店街で私が出会ったのは、個性豊かなキャラクターたち。店の灯りでぼんやり灯る一本道を、のぼりや壁、屋根の上から見守っている彼らをみていると、おもわずほっこりした気持ちになります。ここでしか出会えない温かさが、そこにはありました。

## 原口 さとみ

ブノンペンの引力 ～カンボジア、を綴じてみる～

大学生になってから3度も訪れて、私という人間について語る時にかかせない要素になってしまったカンボジア。そこには明暗ある彩りと、遅くも早くもあるリズムがあります。私はそのリズムに乗りつつ残されつつ、気付けばそれらと「共存」というより「融合」する感覚を時に抱きます。一度、その「融合」してしまっ部分を取り出して見つめてみたい、見せたい。そんな思いから制作を試みました。

## 根岸 明子

PV

墨東大学のプロモーションビデオです。キラキラ商店街を舞台に、まちの人との交流を通して、墨東大学について皆様に知ってもらうため、体当たり撮影に挑みました。

## 渡邊 大晃

昼寝をするための徹夜

三宅航太郎さんの講義「昼寝をするための徹夜」の授業で、受講生4人(出席できたのは3人)がどのような徹夜を試みたのか、そのプロセスと画像をパネルで展示します。あわせて、その時に作成された枕も展示します。※墨大生瀬谷昂宏と大間知卓との共同制作になります。瀬谷の概要が短すぎる場合は、上記の概要を使用して下さい。

## 鰐淵 久美

なかちの恋路

墨東大学の職員、「なかち」こと中島さんの中高大学生の主に「恋愛」に関する思い出から構成される短編映像の「予告編」を制作しました。本編の展示はなく、あくまで予告編とポスターの展示となります。

## 松浦 李恵

なかちの恋路

墨東大学の職員、「なかち」こと中島さんの中高大学生の主に「恋愛」に関する思い出から構成される短編映像の「予告編」を制作しました。本編の展示はなく、あくまで予告編とポスターの展示となります。

## 小林 信明

墨東メモリー

私が墨東で撮ったベストショットをポストカードに落とし込み、墨東エリアを知らない方に雰囲気伝えます。

## 岸 智子

考え中～

す、すみません、まったく手つかず、思いつかず…。

## 村井 洋子

なつかしい背中

この作品の主役は、向島で拾ったママチャリの子ども用座席。変形してしまったこの座席は、いつしか使い古されて自転車から離れゴミとなった。この座席を見るだけで母の後ろに乗っていた自分を思い出し、また母の後ろに乗る誰かを思ってあたたかい気持ちになる。

---

主催：東京都・東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）・慶應義塾大学・東京都市大学

NPO法人向島学会×東京アートポイント計画「墨東まち見世2010」参加企画/「学生とアーティストによるアート交流プログラム」参加企画

「学生とアーティストによるアート交流プログラム」とは、学生が地域や社会の中でアーティストと交流・協働しながら、実験的・先進的なアートプロジェクトを実施する機会を提供することを目的として、東京都と東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）が、大学等と連携して実施する事業です。東京の様々な人・まち・活動をアートで結ぶことで、東京の多様な魅力を地域・市民の参画により創造・発信することを旨とする「東京アートポイント計画」の一環として実施されています。